


現況検査により認められる状況の記録


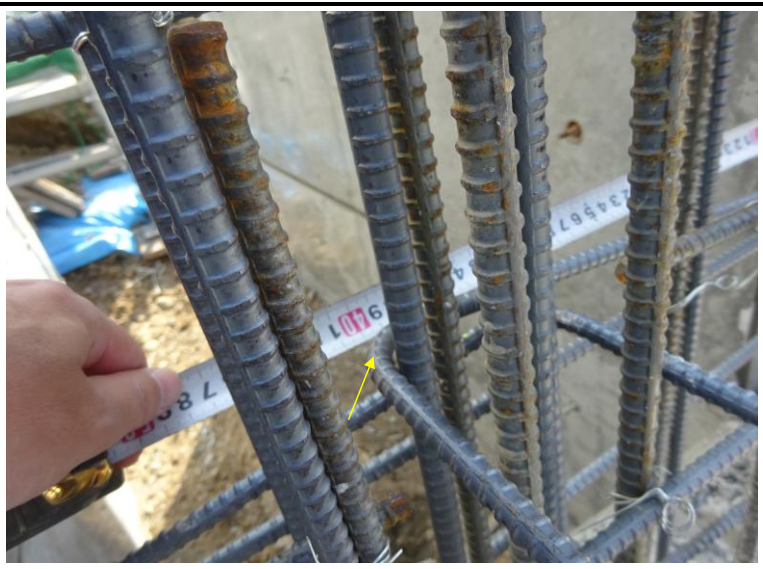
令和5年4月4日	
NO	61
場所	DX3通り
部位	W18 (界壁)
壁立上がり筋との定着長さ (L1: D10×40=400mm以上) が確保されていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	62
場所	DX3通り
部位	W18 (界壁)
W18のT型交差部では、計画通りの定着長さ (L2: D10×35=350mm) が確保されていることを確認。	




令和5年4月4日	
NO	63
場所	DX3通り
部位	W18 (界壁)
同上。	



現況検査により認められる状況の記録

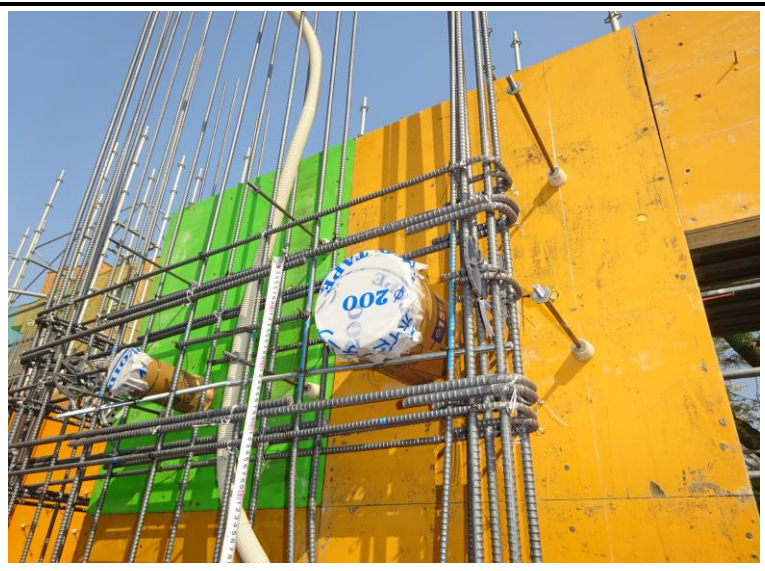
令和5年4月4日	
NO	64
場所	DY2通り
部位	W18
W18の重ね継手位置が交互としていること、他、継手長さ（L1：D10×40=400mm以上）が十分に確保されていることを確認。	
	



令和5年4月4日	
NO	65
場所	DY2通り
部位	W18
W18の第1縦筋の設置位置が計画通りであることを確認。（端部補強筋が複配筋の場合、第1縦筋は1P以内となる。）	
	



令和5年4月5日	
NO	66
場所	壁面（W18）
部位	スリーブ貫通部
スリーブ貫通部の補強筋の設置状況。	
	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月5日	
NO	67
場所	壁面 (W18)
部位	スリーブ貫通部
縦横 (上下左右) に対して補強筋 (D13) が設置されていることを確認。	



令和5年4月5日	
NO	68
場所	壁面 (W18)
部位	スリーブ貫通部
同上。	



令和5年4月5日	
NO	69
場所	壁面 (W18)
部位	スリーブ貫通部
補強筋の定着長さ (L2 : D13×35=455mm以上) が十分に確保されていることを確認。	



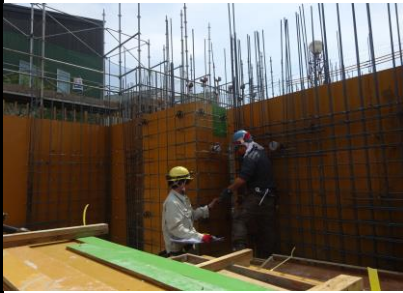


現況検査により認められる状況の記録

令和5年4月5日	
NO	70
場所	壁面 (W18)
部位	スリーブ貫通部
縦横 (上下左右) に対して補強筋 (D13) が設置されていることを確認。	




令和5年4月5日	
NO	71
場所	壁面 (W12)
部位	スリーブ貫通部
各所のスリーブ貫通部廻りには鉄筋かぶり厚さ (30mm以上) が確保される状況であることを確認。	




令和5年4月5日	
NO	72
場所	C D棟 (D棟)
部位	1階床スラブ
1階床スラブ面のコンクリートの打ち上がり状況では、特に、ひび割れや豆板などの不良は見受けられないことを確認。	

